

(1) 自殺の現状と関連する状況について

★自殺統計で用いられる値の解説（速報値、暫定値、確定値の違い）

【速報値】

- ・ある月の月末時点による自殺者数として、翌月上旬頃に公表される値です。集計項目は、月別、男女別、都道府県別の自殺者数。
- ・速報値であり、自殺者の職業や自殺の原因・動機別等の情報はありません。
- ・捜査中の事案や月末頃に発生した事案などで死因が自殺と特定できていない場合には、速報値への計上がなされませんので、速報値は最終的な確定値と比較して値が少なくなる傾向にあります。

【暫定値】

- ・ある月の翌月上旬頃に報告された自殺者数として、下旬頃に公表される値です。集計項目は速報値と同様に、月別、男女別、都道府県別の自殺者数。
- ・「地域における基礎資料」として、厚生労働省において、自殺の実態把握として地方公共団体職員等が利用することを目的に、警察庁から提供された自殺統計原票に基づくデータの加工統計を作成しており、職業別、原因・動機別などの項目で集計をしています。

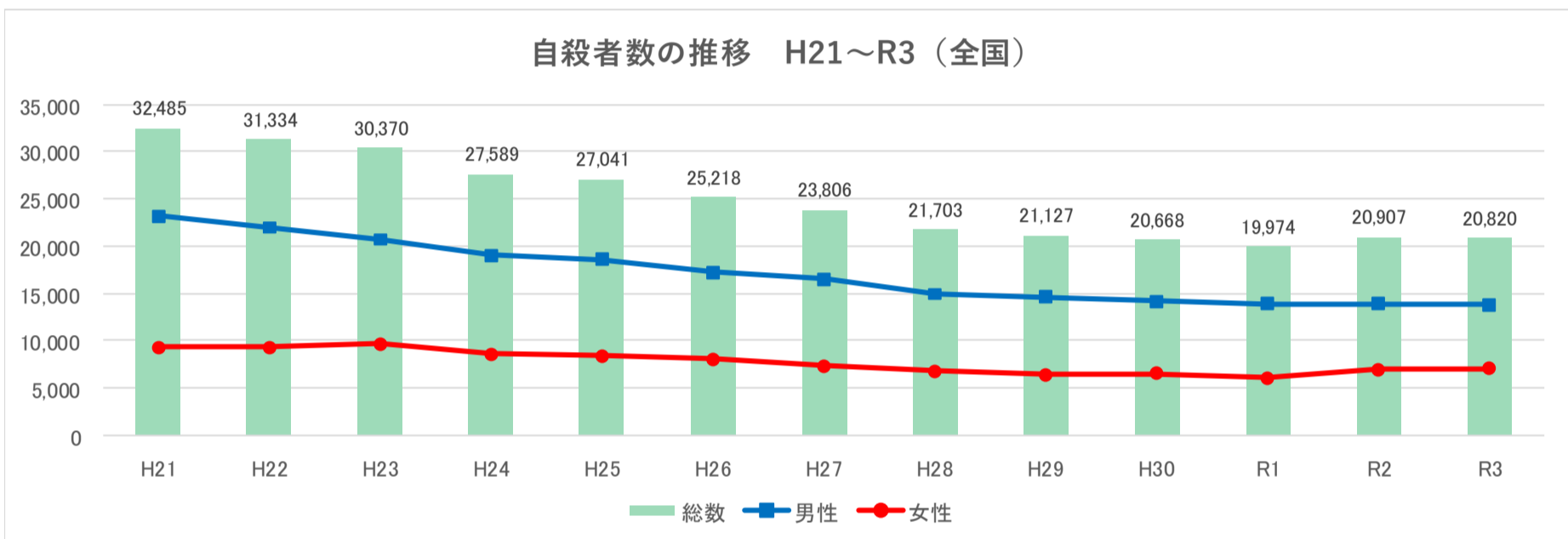
【確定値】

- ・ある年の確定した自殺者数として、翌年3月中旬頃に公表される値です。速報値及び暫定値と同様に、月別、男女別、都道府県別の自殺者数。これ以外に、職業別や原因・動機別自殺者数などを集計しています。

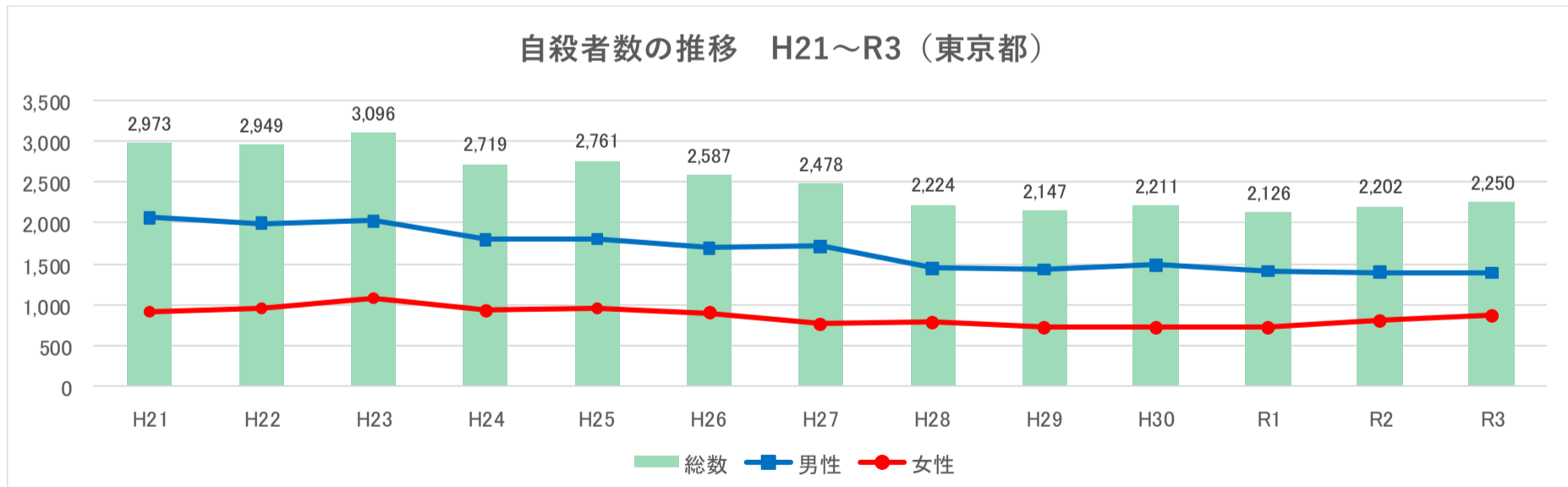
ア 自殺統計から

◆ 自殺者数 （出典 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

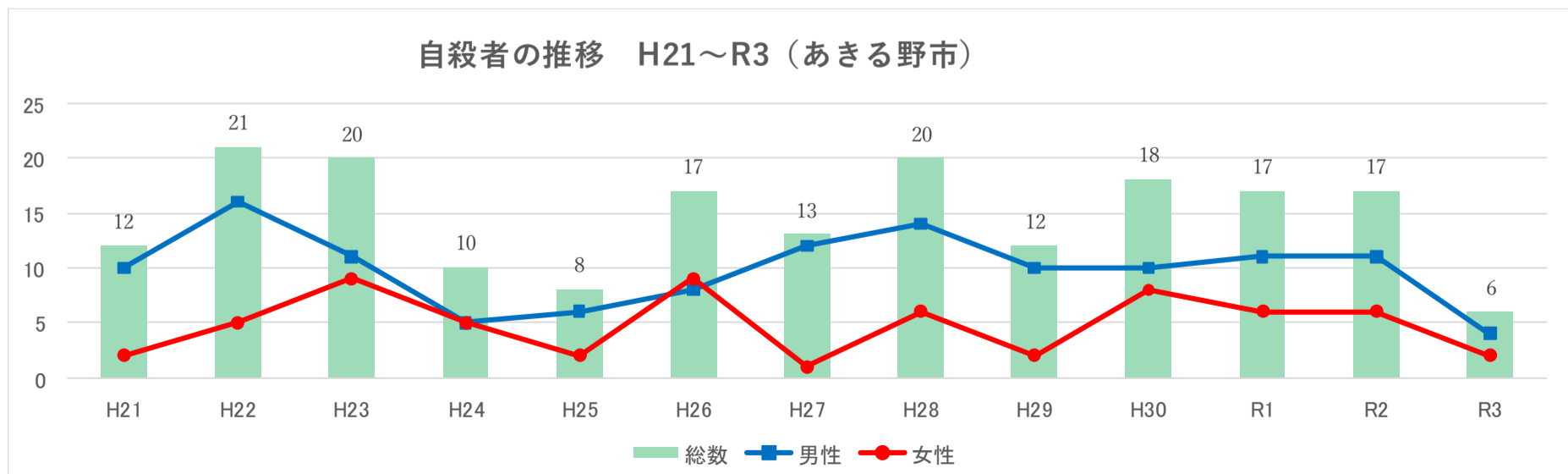
- ・全国の年間自殺者数は、令和3年20,820人で、令和2年より87人減少しました。



- ・東京都の年間自殺者数は、令和3年2,250人で、令和2年より48人増加しました。

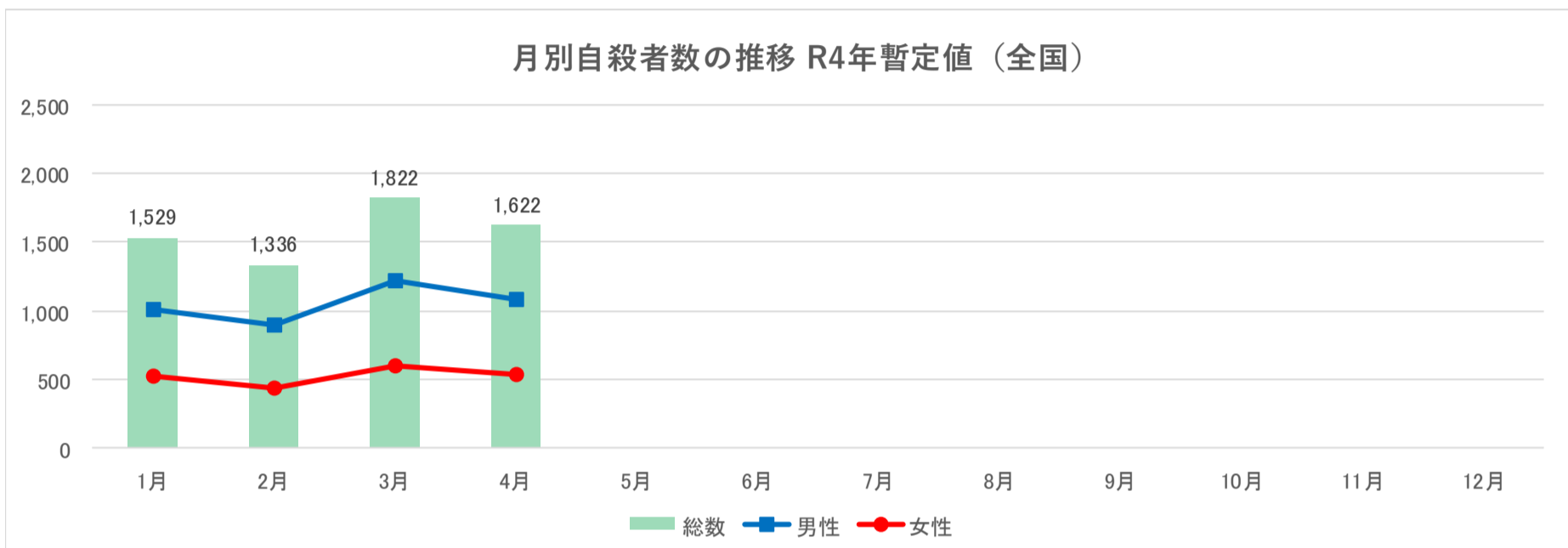
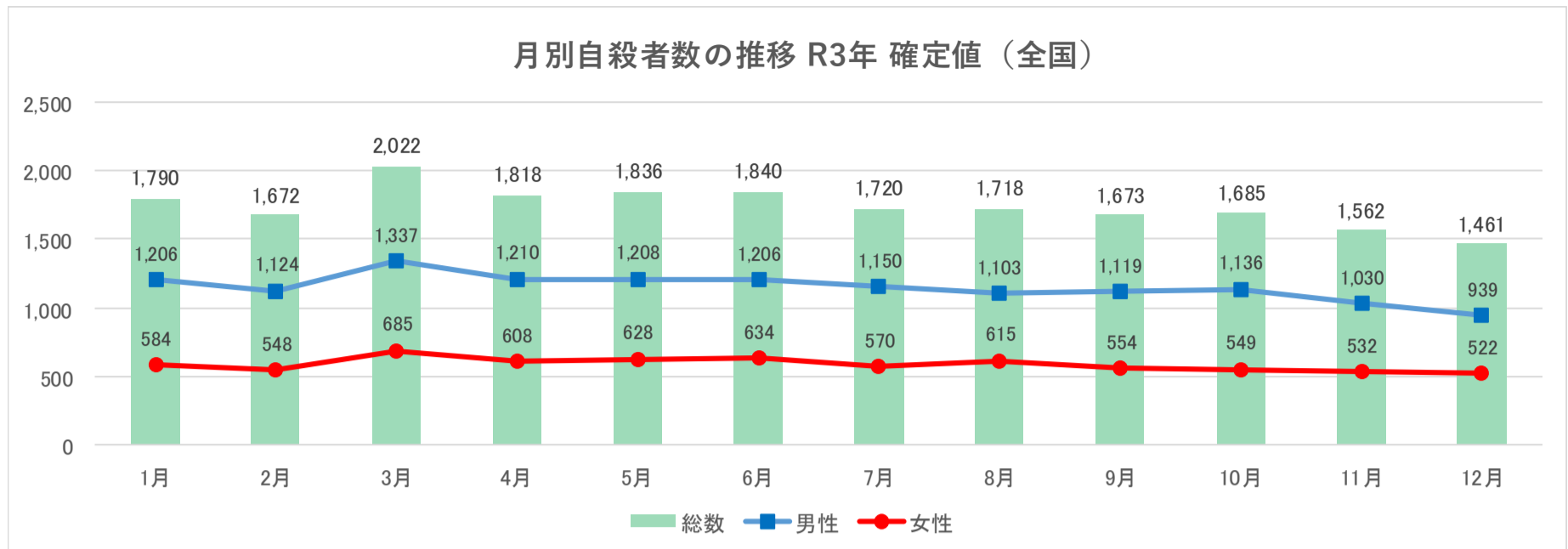


- ・あきる野市の年間自殺者数は、令和3年6人で、令和2年より11人減少しました。

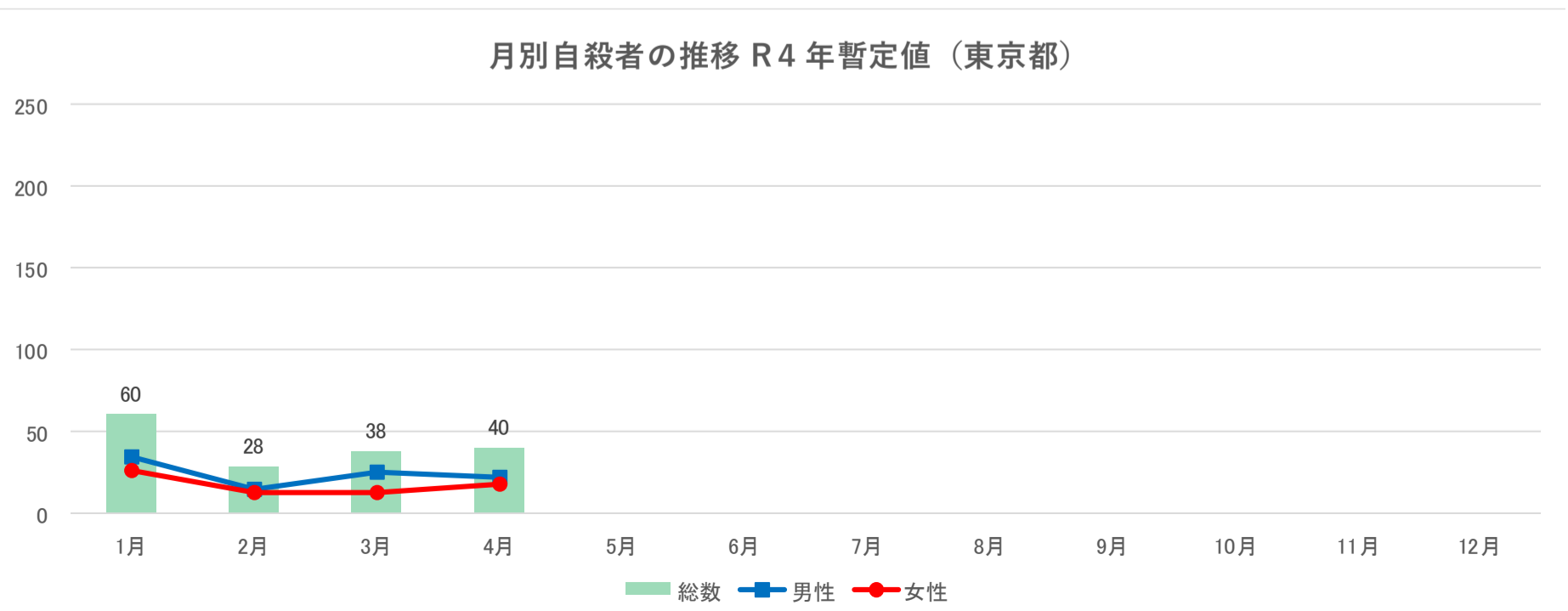
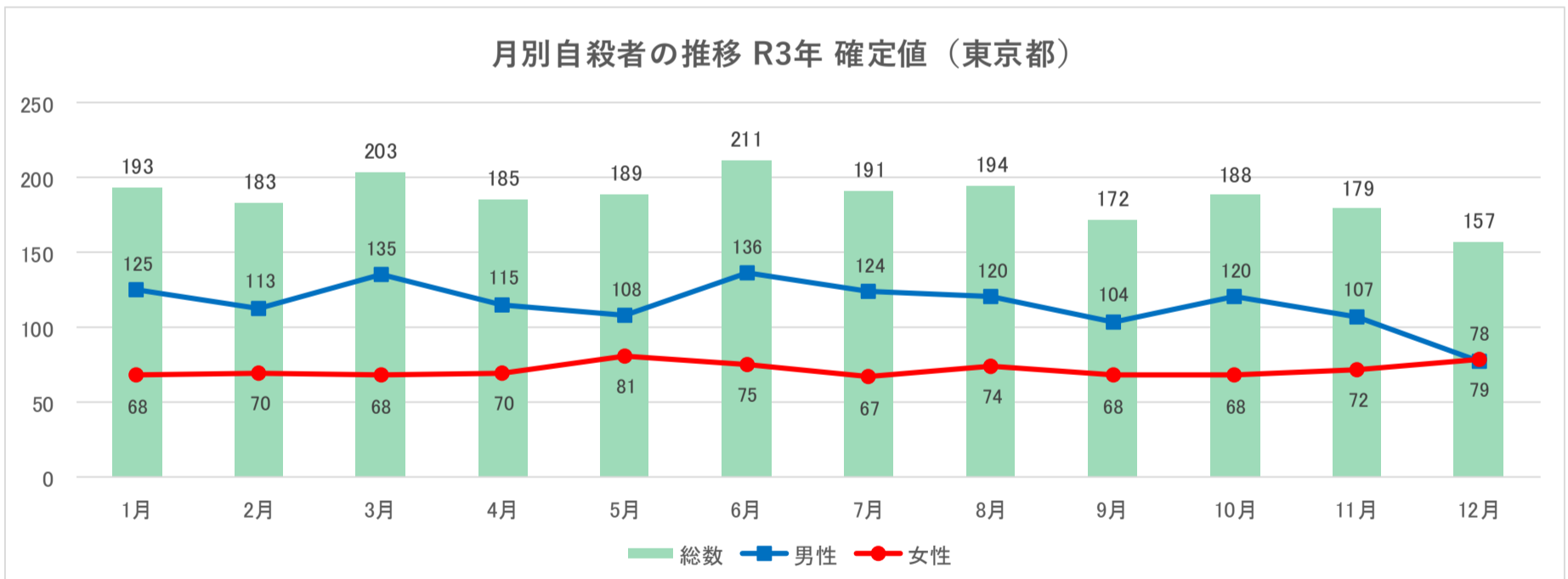


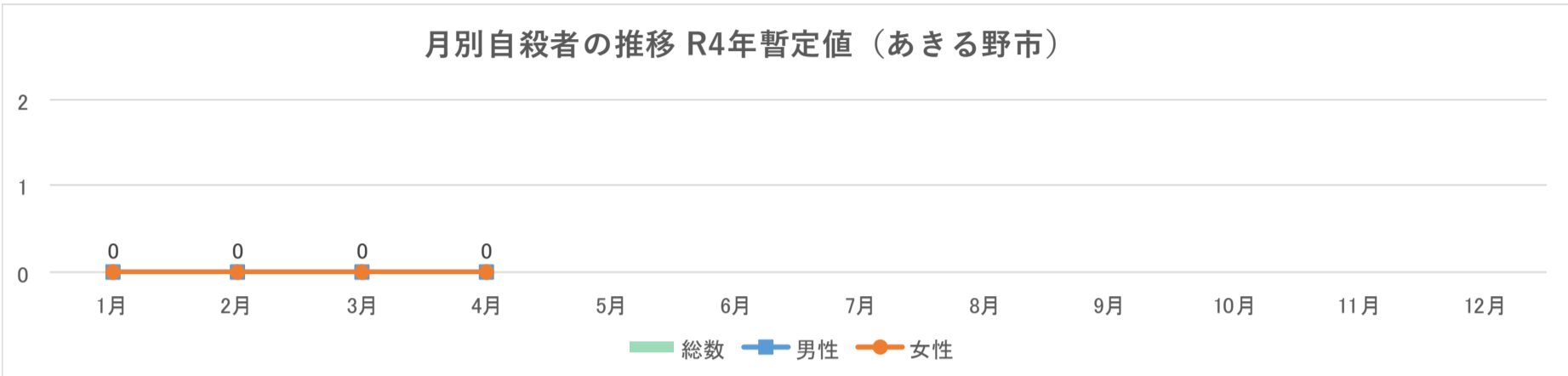
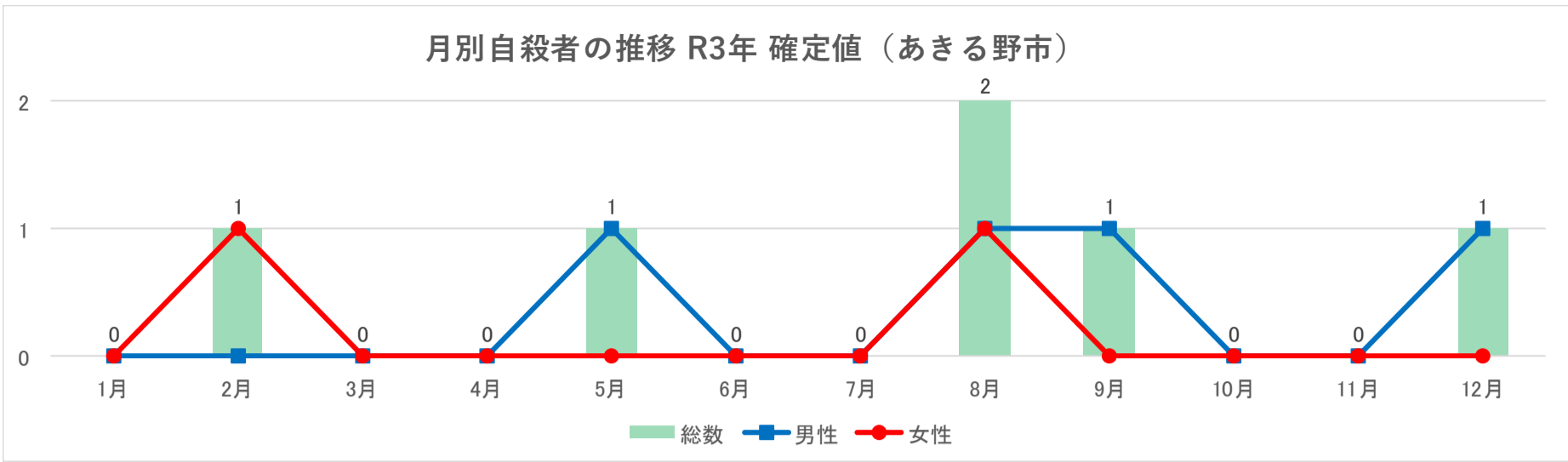
◆ 月別自殺者数 (出典：地域における自殺の基礎資料 ※令和3年確定値 ※令和4年暫定値)

・令和3年の全国の月別自殺者数で最も多かったのは3月でした。



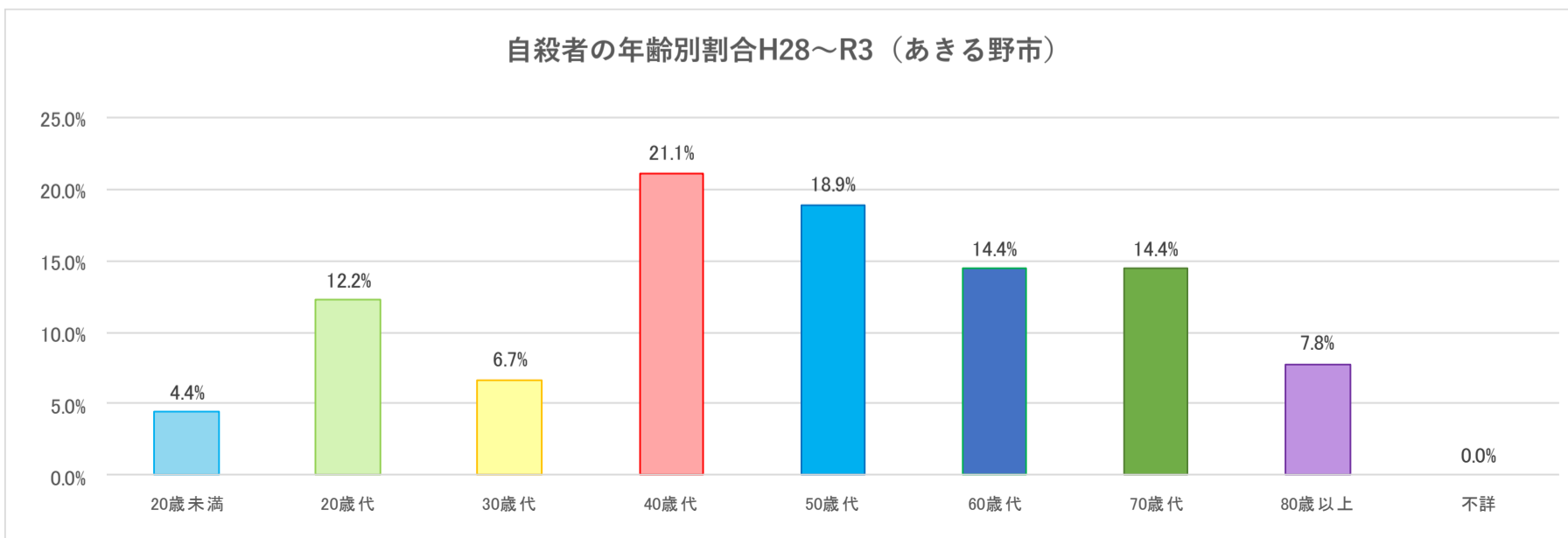
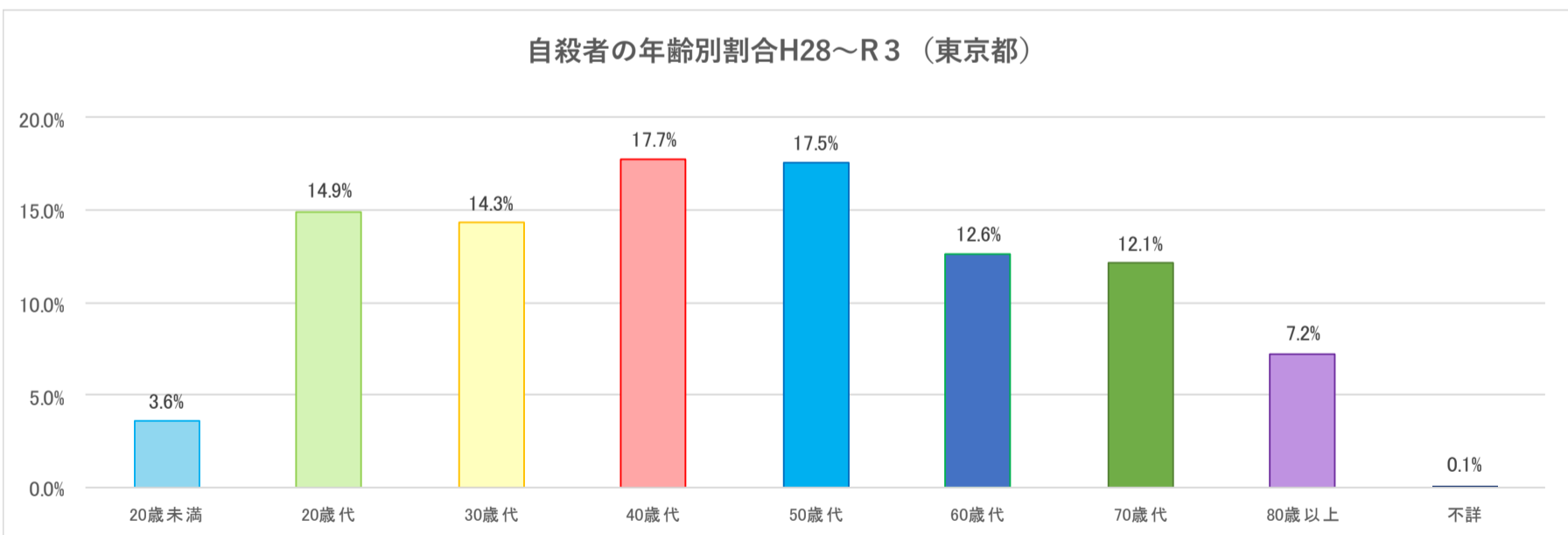
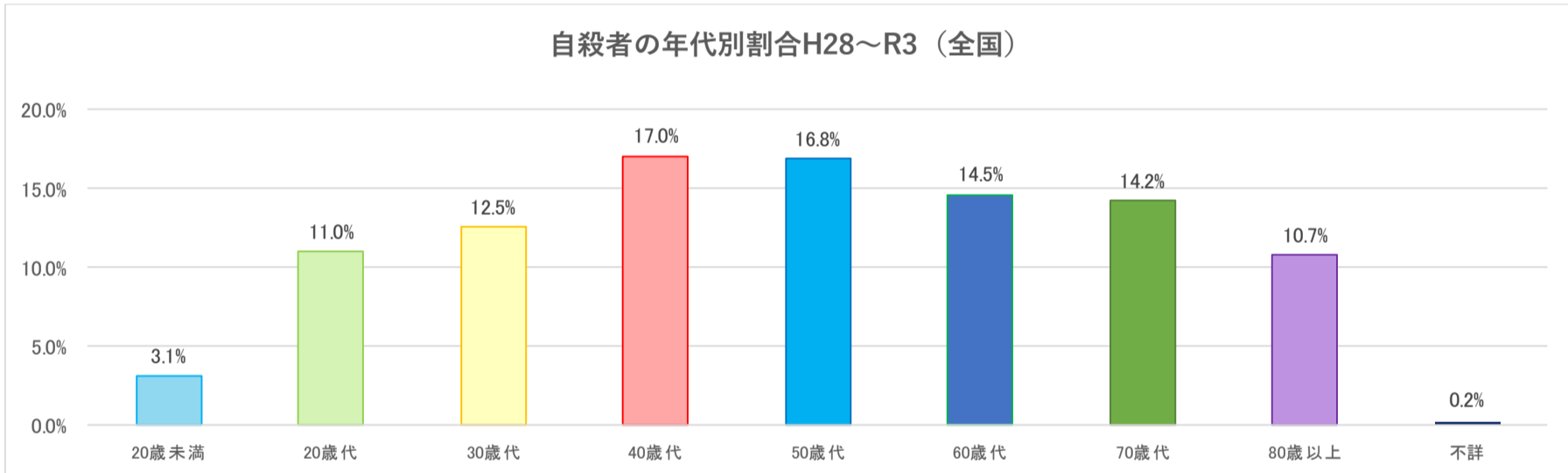
・令和3年の東京都の月別自殺者数で最も多かったのは6月でした。





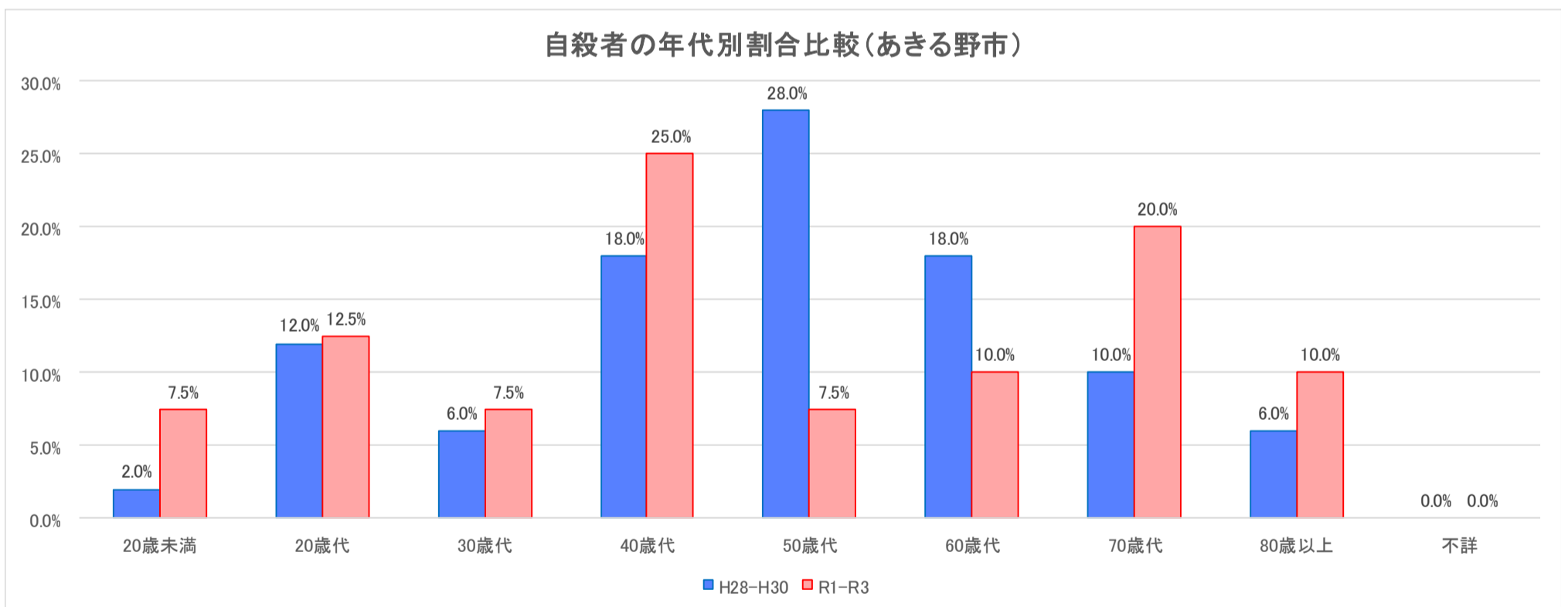
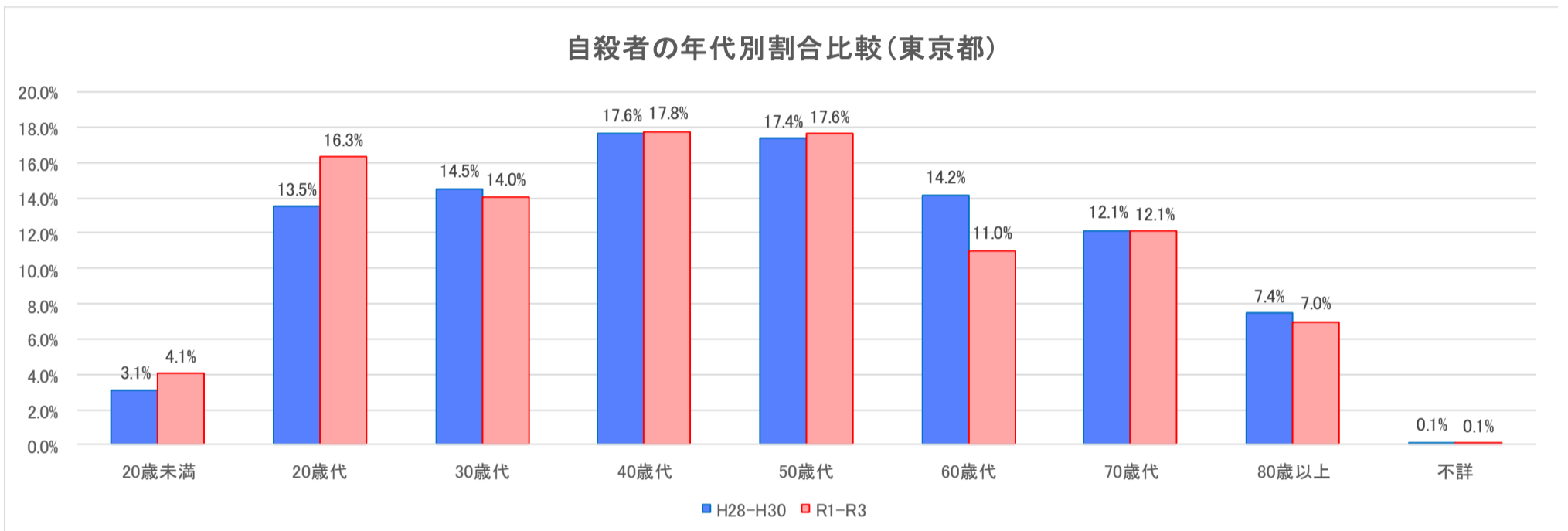
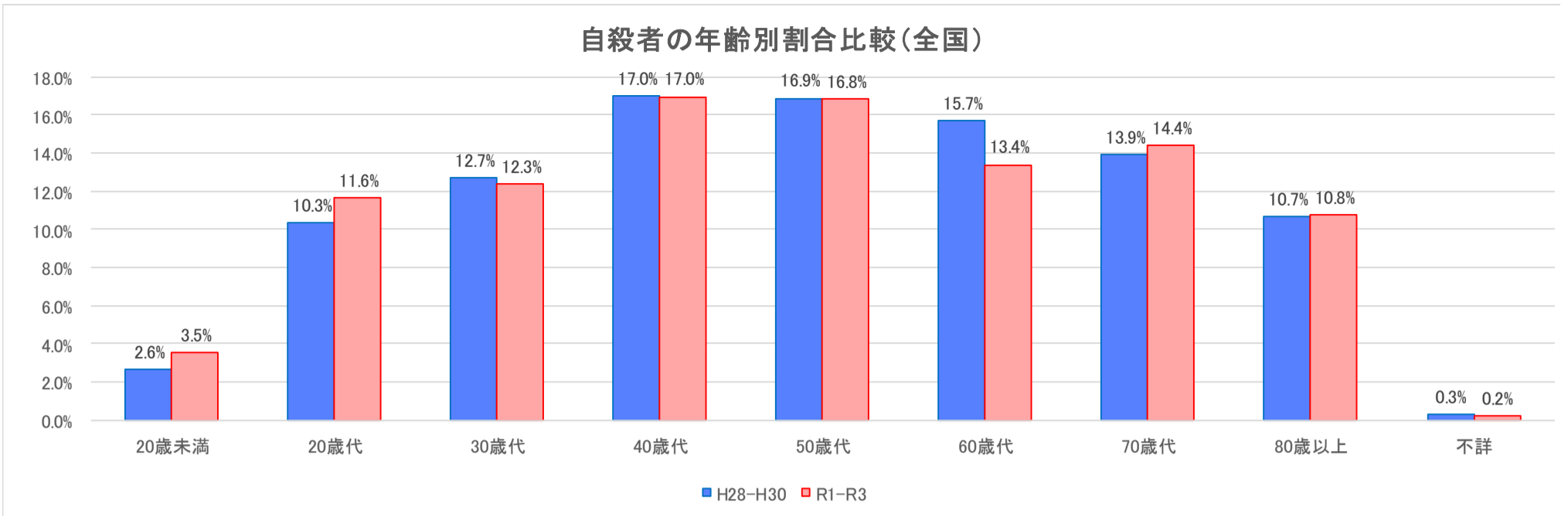
◆ 自殺者の年代別割合（平成28年から令和3年までの合計）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料）

・平成28年から令和3年の年代別割合では、全国、東京都、あきる野市で、最も多い年代は40歳代、次いで50歳代でした。



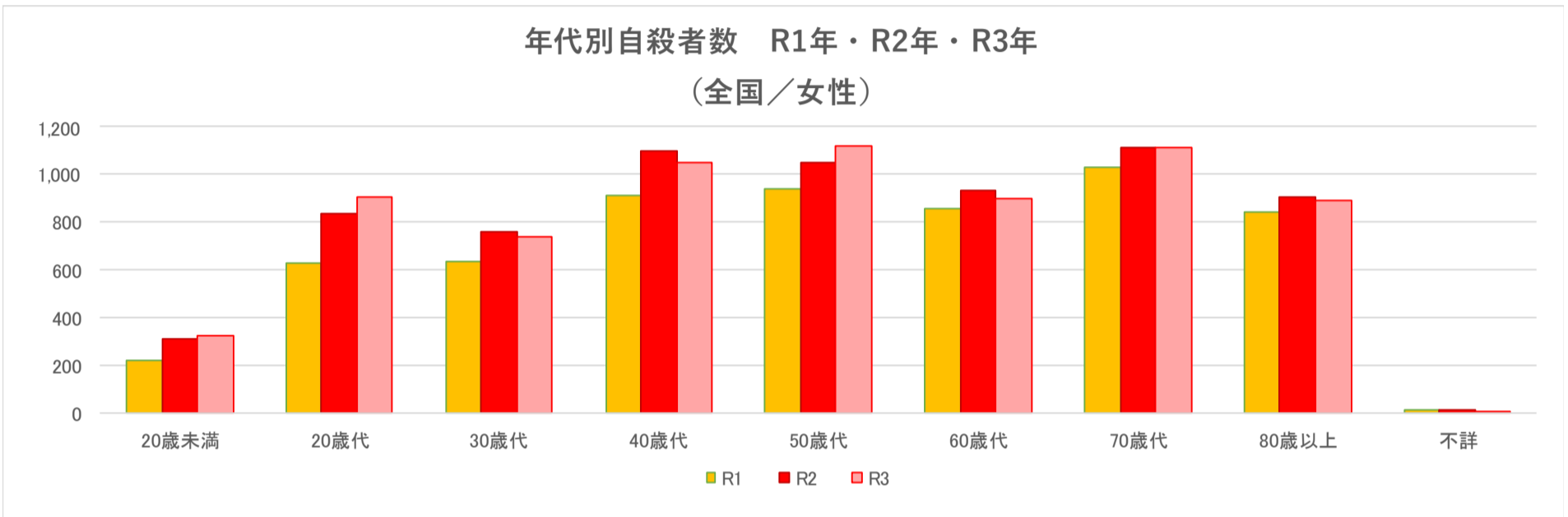
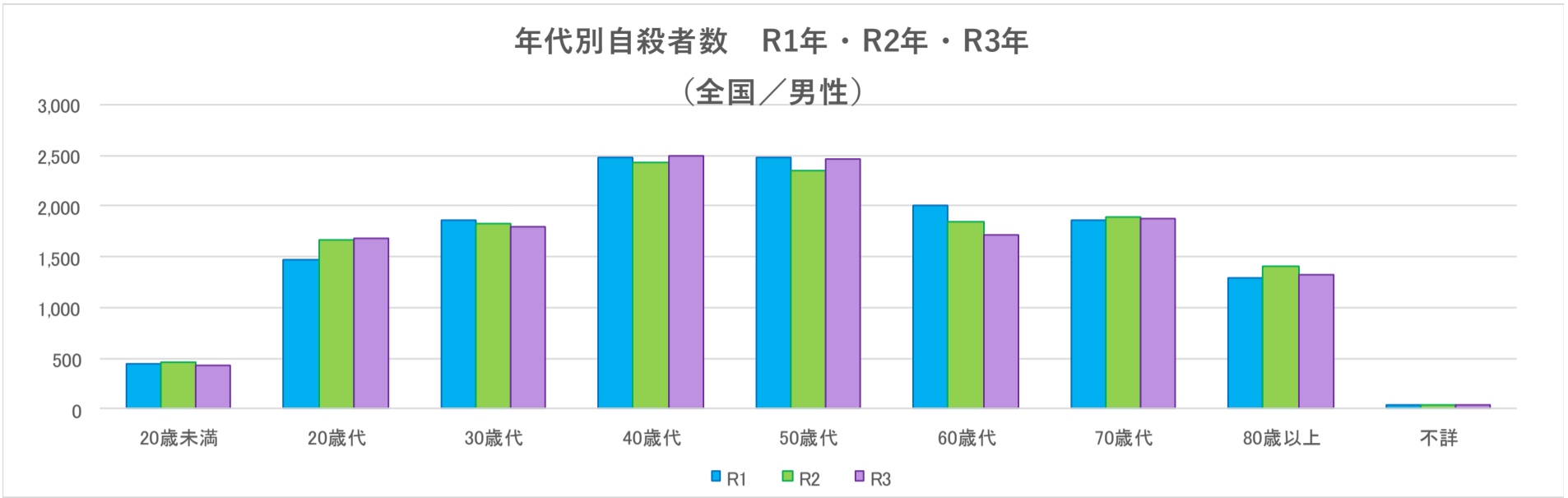
◆ 自殺者の年代別割合比較（平成 28 年～平成 30 年と令和元年～令和 3 年の比較）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料）

・平成 28 年～平成 30 年、令和元年～令和 3 年の年代別割合の比較は、全国、東京都、あきる野市で 20 歳未満、20 歳代の割合が増加し、60 歳代の割合は減少しています。また、あきる野市では 50 歳代の割合が大きく減少しています。

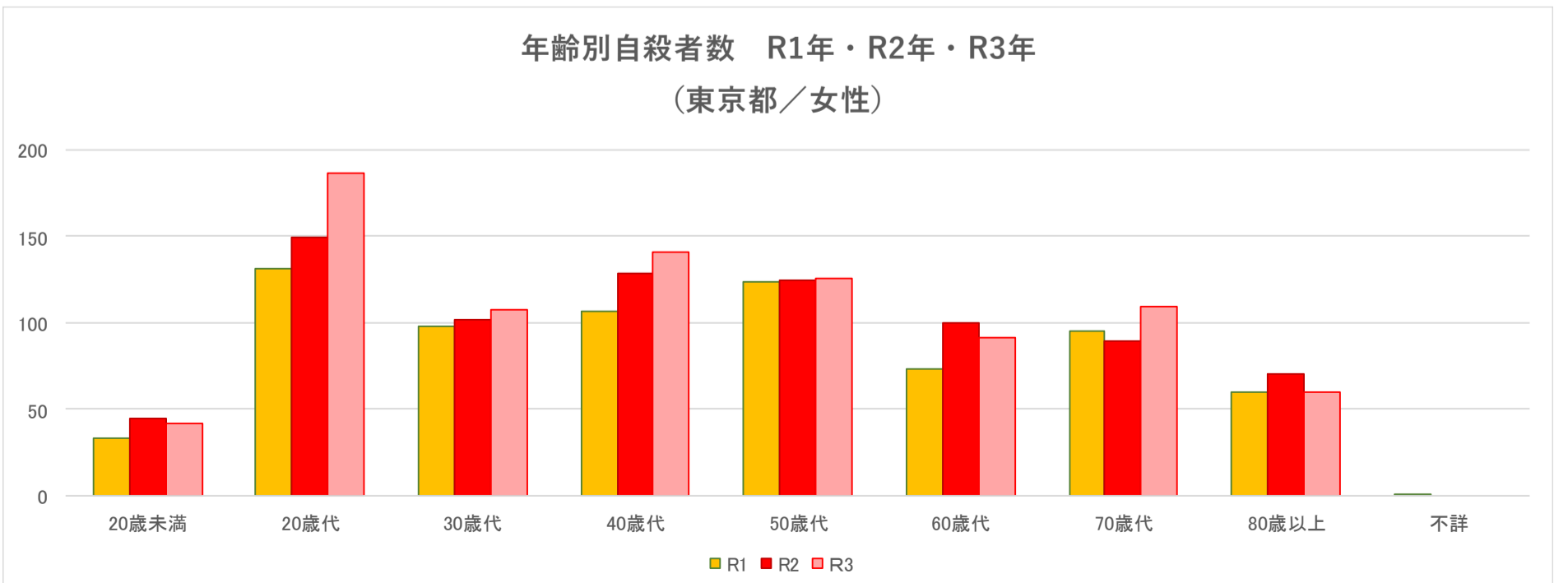
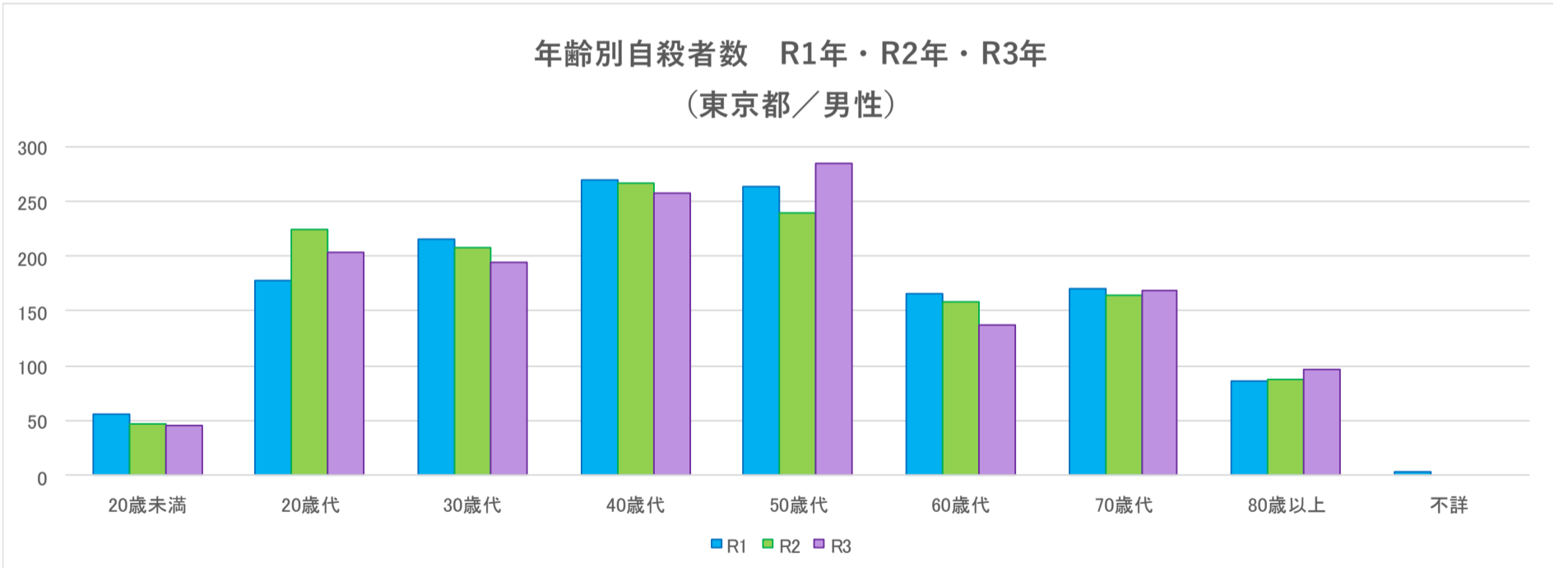


◆ 自殺者の年代別状況（令和元年、令和2年、令和3年の比較）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

・全国の年代別状況を令和元年、令和2年、令和3年の比較では、男性は30歳代、60歳代で年々減少していますが、女性は20歳未満、20歳代、50歳代、70歳代で年々増加しています。

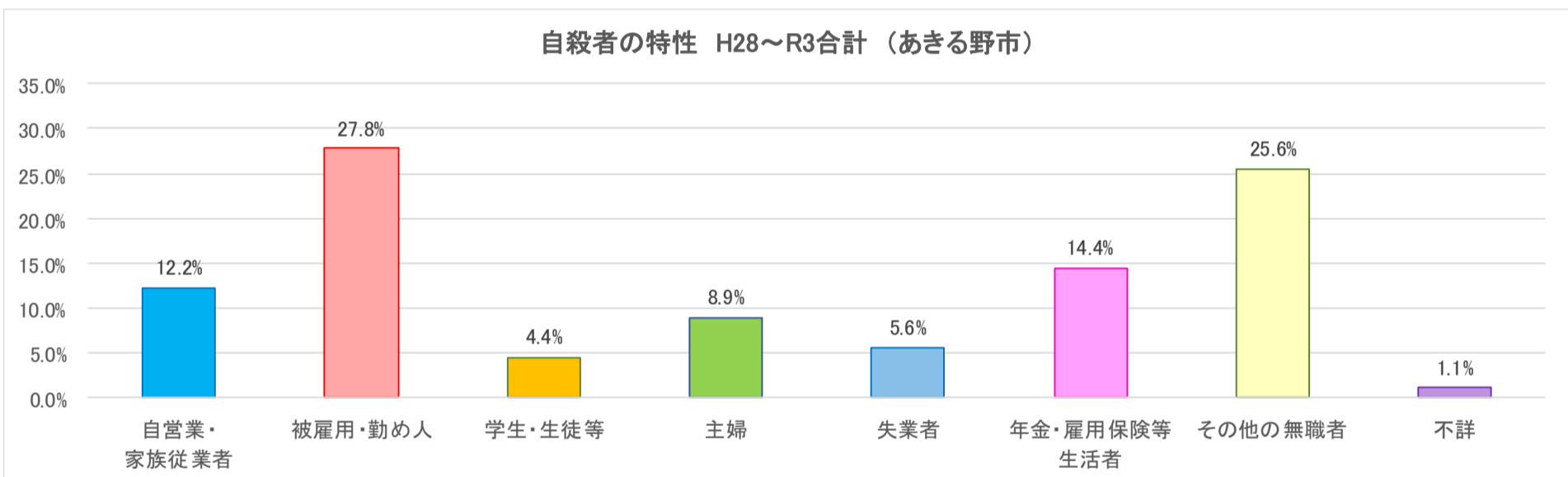
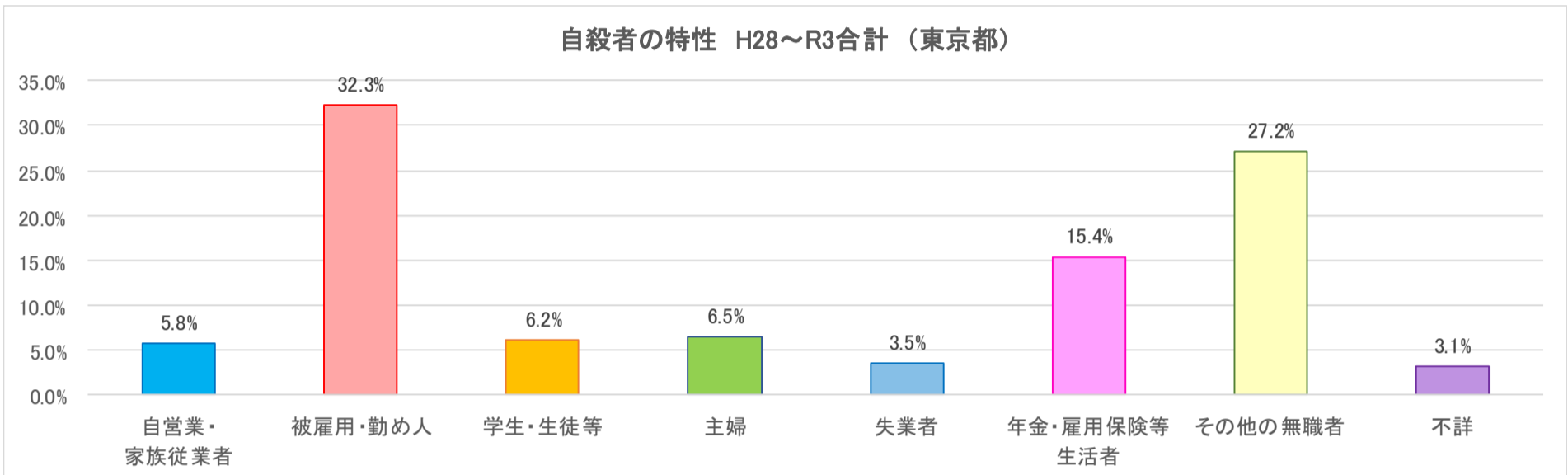
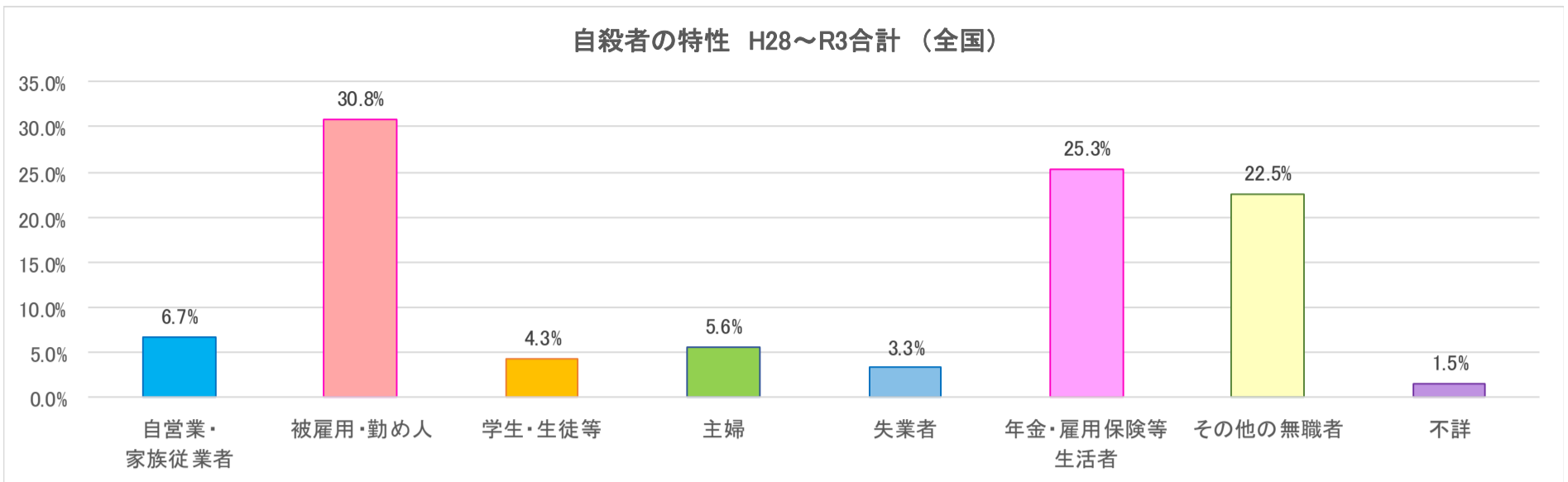


・東京都の年代別状況を令和元年、令和2年、令和3年の比較では、男性は20歳未満、30歳代、40歳代、60歳代で年々減少していますが、女性は20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で年々増加しています。



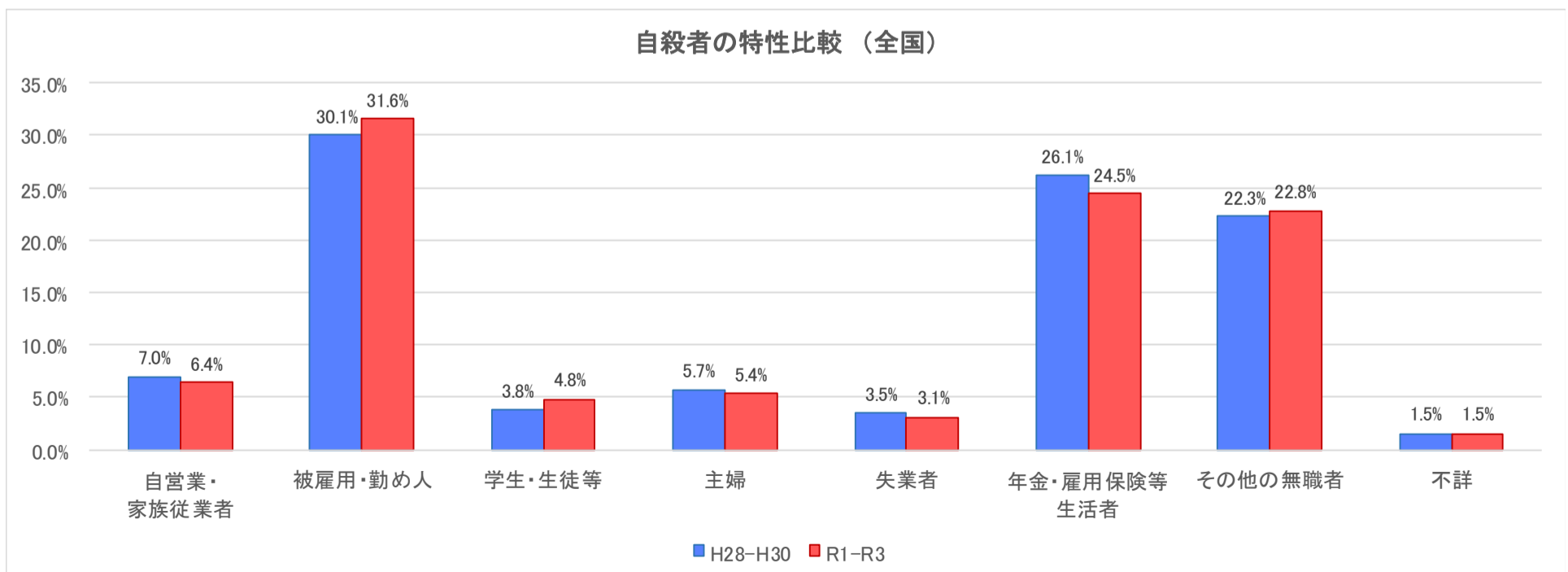
◆ 自殺者の特性（平成28年から令和3年までの合計）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

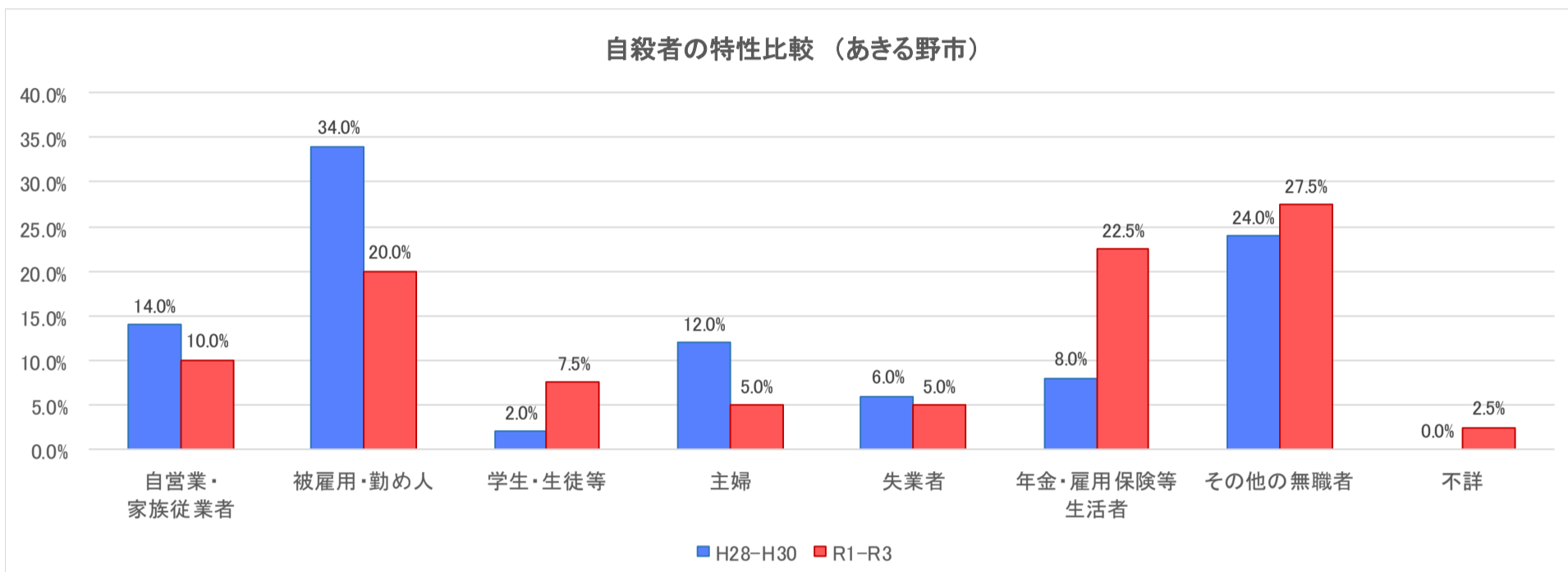
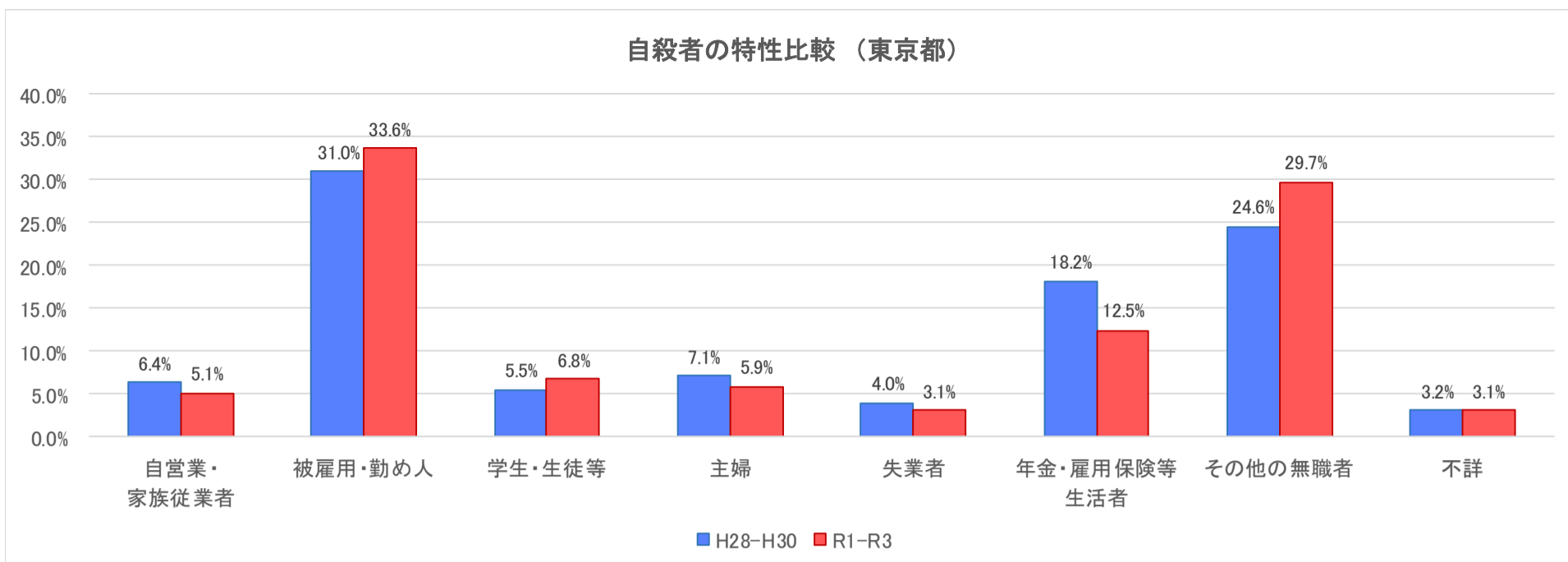
・全国や東京都と比較して、あきる野市は、「自営業・家族従業者」「主婦」の割合が多くなっています。



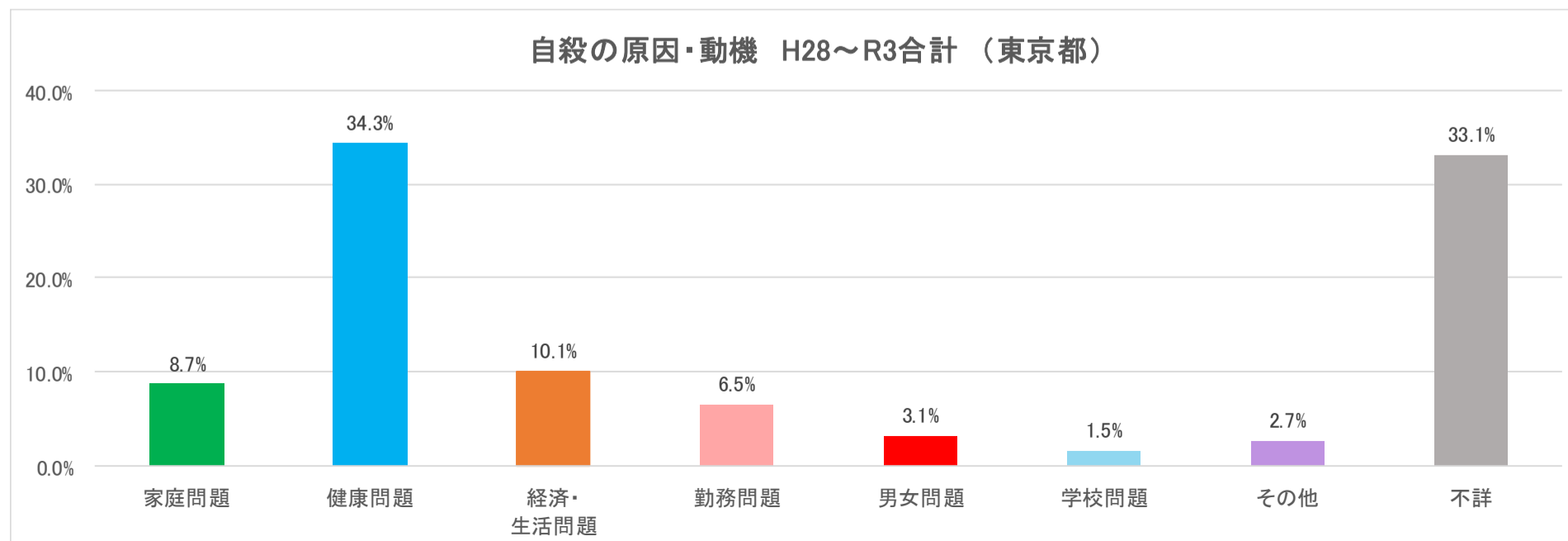
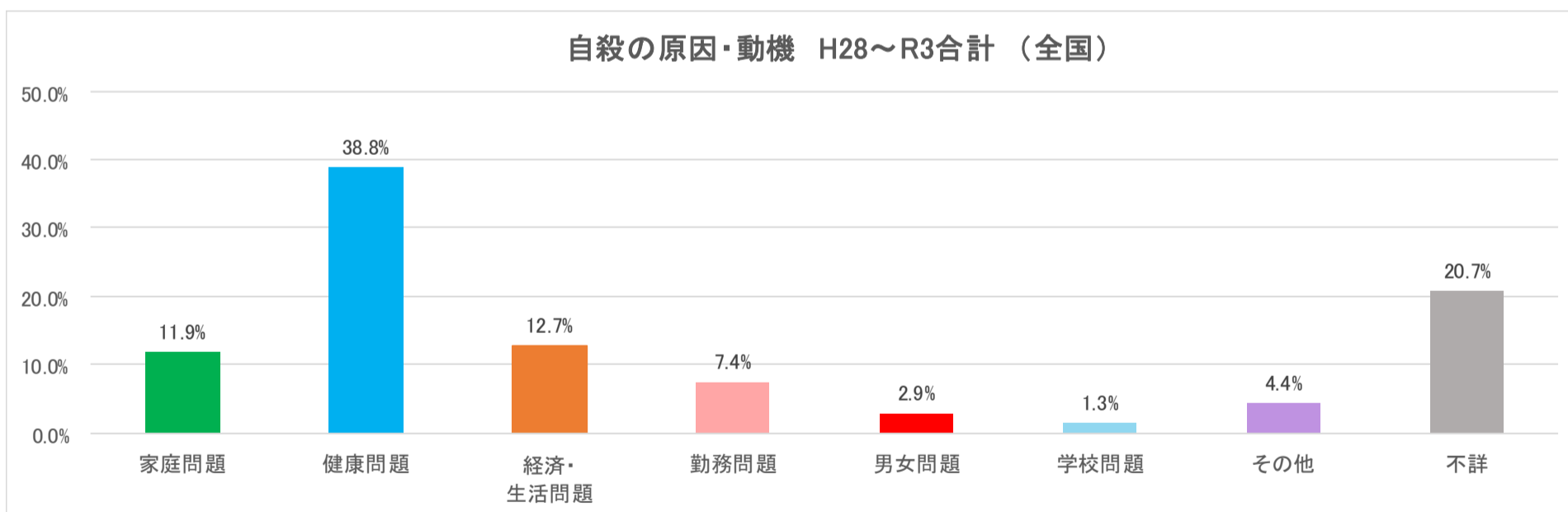
◆ 自殺者の特性比較（平成28年～平成30年と令和元年～令和3年の比較）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

・平成28年～平成30年と令和元年～令和3年を比較すると、全国と東京都では「被雇用・勤め人」の割合が増加しましたが、あきる野市では減少しています。また、全国と東京都では「年金・雇用保険等生活者」の割合が減少しましたが、あきる野市では増加しています。

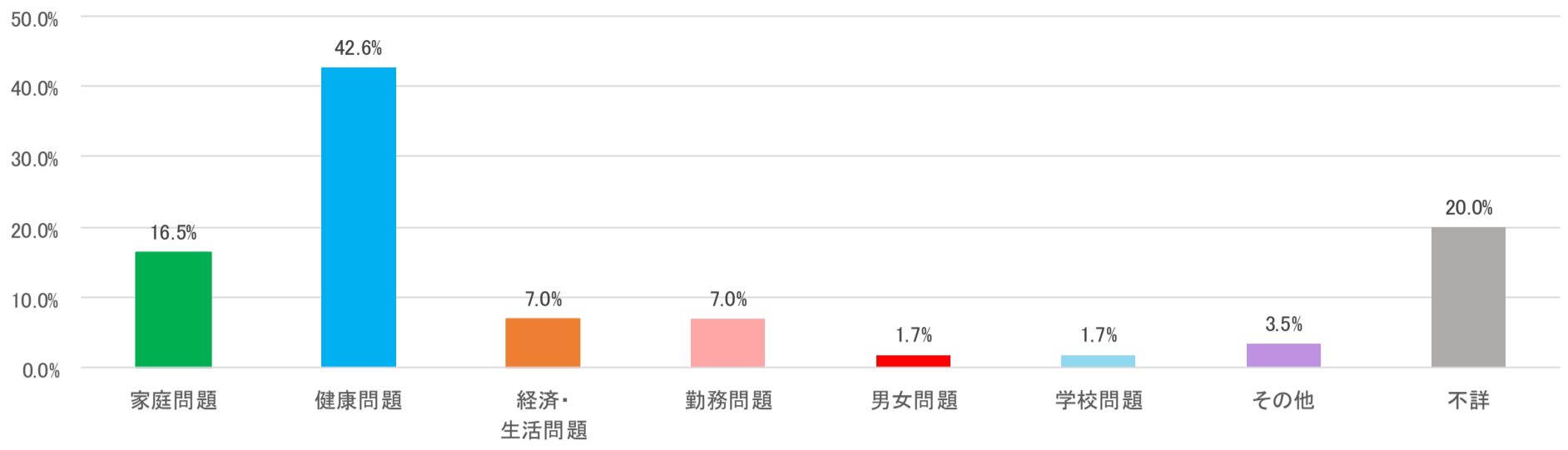




◆ 自殺の原因・動機（平成28年から令和3年までの合計）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）
 ・自殺の原因や動機で最も多いのは「健康問題」で、次いで多いのは「不詳」「経済・生活問題」「家庭問題」でした。あきる野市は、「健康問題」が42.6%と最も高い割合となっています。



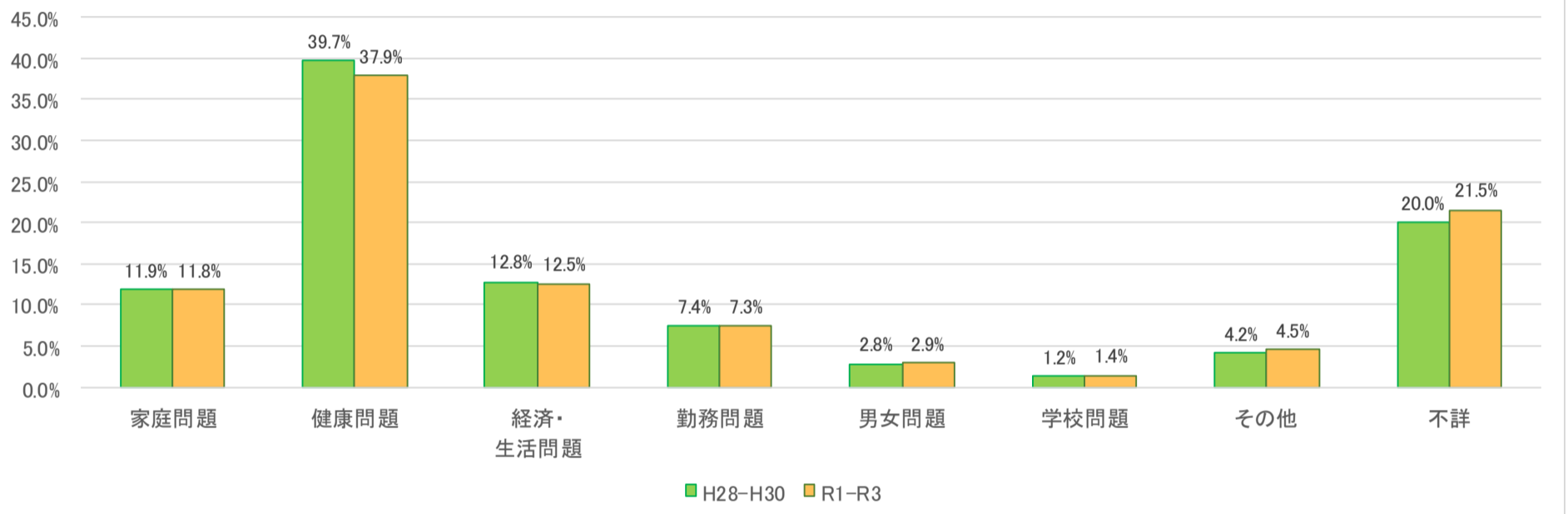
自殺の原因・動機 H28～R3合計（あきる野市）



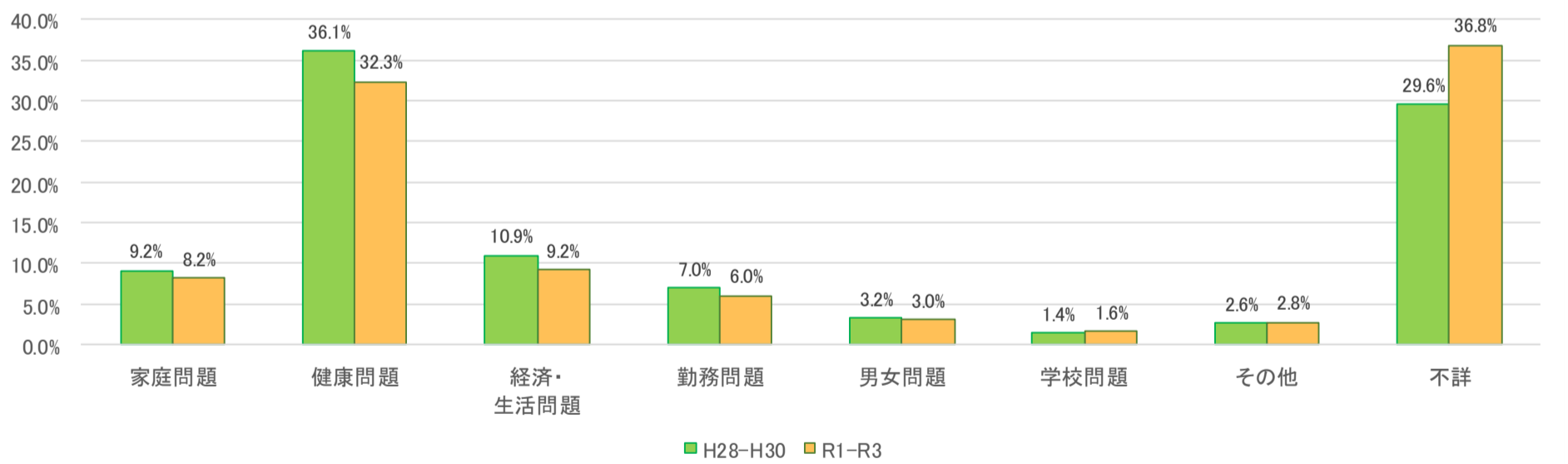
◆ 自殺の原因・動機（平成28年～平成30年と令和元年～令和3年の比較）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料）

・平成28年～平成30年、令和元年～令和3年の原因・動機の比較では、全国、東京都と共に、「健康問題」「経済・生活問題」「勤務問題」等の割合は減少し、「不詳」が増加しています。あきる野市は「家庭問題」「健康問題」が増加しています。

自殺の原因・動機比較（全国）



自殺の原因・動機比較（東京都）



自殺の原因・動機比較（あきる野市）

